

令和6年度 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会  
協議題回答<新潟市抜粋>

## 協議題一覧

該当ページ	提案都市	キーワード	協議題
2~4	仙台市	P T A	市立学校におけるP T A事務に係る諸課題について <b>【議題希望】</b>
5~9	静岡市	地域学校協働活動	地域学校協働活動推進員等の人材の確保について (別紙調査票あり【様式1-2】)
10~12	浜松市	地域学校協働活動	地域学校協働活動について
13~14	堺市	地域学校協働活動	各自治体における地域学校協働本部への対応について
15~17	千葉市	公民館	民間企業等による公民館活用事例について
	熊本市	公民館	公民館における社会教育法第23条第1項第1号の解釈について
18~19	大阪市	公民館	社会教育(生涯学習)施設の利用状況及び アフターコロナの利用回復・促進に向けた取組について
20~22	岡山市	公民館	公民館の事業方針と進行管理について
23~24	札幌市	学校施設地域開放 ・読書活動	学校と地域が連携した子どもの読書活動推進のための取組について
25~26	京都市1	学校施設地域開放	学校施設開放事業における、学校や地域での管理運営以外の 手法の導入状況について
27~29	横浜市	人材育成	生涯学習・社会教育関係職員の人材育成について
30~31	相模原市	人材育成	人材バンクについて
32~33	神戸市	人材育成	社会教育主事・社会教育主事補・社会教育指導員の 発令・配置状況、業務内容について
34~35	川崎市	I C T	社会教育分野におけるI C T活用等の事例について
36~38	福岡市	I C T	生涯学習の情報発信ツールの活用について (別紙調査票あり【様式1-3】)
39~41	さいたま市	働く世代の学び	働く世代の生涯学習と、地域活動への橋渡しについて
42~79	新潟市	障害のある方の学び	障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について
80~81	名古屋市	外国にルーツを持つ 方の学び	外国にルーツを持つ児童生徒・保護者への社会教育としての 活動支援について
82~83	京都市2	資金調達	資金調達及び経費抑制に向けた工夫について
84~86	北九州市	家庭教育支援	家庭教育支援の取り組みについて

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

\_\_\_\_\_ 仙 台 市 \_\_\_\_\_

協議方法の希望

①  議題希望 ・ ②  資料 (回答書) のみ ←  内に○を入力

協議題

市立学校におけるPTA事務に係る諸課題について

(提案理由)

PTAは、父母と教師とが協力して、家庭と学校と社会における児童生徒の健全な成長を図ることを目的に設置された「社会教育関係団体」(社会教育法第10条)で、国による全国的なPTA組織の設置推奨により、昭和25年には、小・中・高の約98%でPTAが結成され、さまざまな健全育成事業が行われてきた歴史があります。

学校運営に密接な関わりを持つ側面がある一方で、任意団体であるという性質上、共働き世帯やひとり親家庭の増加といった社会経済情勢の変化に伴い、昨今、PTAのあり方についての課題や疑問の声があがっています。

本市においては、各区のPTA連合会の代表者等で構成される仙台市PTA協議会により、各学校のPTA向けに、運営にあたっての疑問点などを整理した「仙台市PTAハンドブック」を作成・配布しているところですが、より時代に即した内容とするための見直しを検討しているところです。

つきましては、下記について貴市の状況や課題についてご教示いただくとともに、PTA運営に係るガイドライン等がありましたら、ご惠与ください。

(現状と課題)

(1) 保護者への任意加入の説明及び手続きについて

入学説明会や総会において文書または口頭でPTAへの加入は任意であることを説明しているが、加入申込書(同意書、承諾書を含む)の様式は定めていないため、任意加入であることの周知が行き渡っていない可能性がある。

(2) 個人情報の取扱いについて

PTAが取扱う個人情報は、PTAにおいて入手するようにし、保護者の許可なく学校から個人情報を渡さないこととしているが、一部でその線引きが曖昧となっている学校もある。また、PTAで任意に徴収した個人情報が漏洩した場合の保険への加入を推奨しているが、加入率は全校PTAの半数を超える程度に留まっている。

(3) PTA会費の徴収方法について

PTAの会計事務担当者(保護者)が行っている例もあるが、PTA会長と学校長との業務委任契約(書面または口頭)の締結により、学校教職員が、教材費等の学校納付金と合わせて徴収し、事務負担が生じている例も多い。

(4) P T A会費の使途について

一般的に、学校の授業や行事に必要な経費（ただし、個人で管理・使用する教材等は個人負担）や学校の維持管理に必要な経費は公費で支出し、P T Aの運営や研修に係る経費のほか、卒入学記念品などの奨励費や登下校時の防犯安全対策に係る経費、花壇づくりなどの環境整備に係る経費や地域行事への協賛金など、児童生徒の健全育成に係る経費はP T A会費から支出されている。

しかしながら、“学校教育活動を支援する経費”がP T A会費から支払われている例も見受けられ、例えば、学校の創立周年事業や部活・校外学習等における協力金など、P T A会費による支出の妥当性が曖昧なものもある。今後、本市では、公費負担とすべき経費、私費（個人）で負担を求める経費、私費（P T A会費）で負担するのが妥当な経費とを具体の例示などを示して整理していくことが課題となっている。

協議題作成課：仙台市生涯学習部生涯学習課 （電話） 022-214-8887

（備考）提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

## 1 仙台市

(提出議題)

市立学校におけるPTA事務に係る諸課題について

(回答)

### (1) 保護者への任意加入の説明及び手続きについて

各学校の対応を基本とし、年度初めに、保護者向けの便り、PTA総会、入学式等でPTAが任意団体であることを伝え、加入の意思を確認している。加入申込書の様式は定めていない。

### (2) 個人情報の取扱いについて

PTAが取扱う個人情報は、保護者の許可なく学校から個人情報を伝えないこととしている。例外として、自治会の役員等が自治会の運営に関することで問い合わせた場合は、該当児童の保護者の承認を得たうえで伝えることがある。

### (3) PTA会費の徴収方法について

ほぼすべての学校が教材や給食費等の諸校費と一緒に徴収している。全会員一律の会費の学校もあれば、一口の金額が定められていて保護者が口数を決めている学校もある。

### (4) PTA会費の使途について

会費の多くは、PTAの運営費（研修、PTA主催行事）において必要な経費として支出している。また、学校の周年行事の運営費や課外活動（部活動や音楽祭等への交通費や協力金等）として使用している。

PTA会費の使用の可否については、一定の基準を設けているが、判断が難しい事例もある。

(回答作成課) : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

静岡市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	地域学校協働活動推進員等の人材の確保について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、各小学校に地域学校協働活動推進員を1人ずつ、各中学校区に統括的な地域学校協働活動推進員を1人ずつ配置することを目標としています。令和5年度時点では、小学校83校全てに地域学校協働活動推進員を、統括的な地域学校協働活動推進員も配置が可能な37中学校区中、34人の配置が完了しています。</p> <p>各推進員は、所属する学区の放課後子ども教室の企画運営や学校応援団活動のコーディネートなど、学校と地域の連携に欠かせない活動を担っています。</p> <p>しかし、人口減少や共働き世帯の増加など社会情勢の変化に伴って、推進員の確保が困難となっています。現在未配置の学校のみならず、配置が完了している学校においても、次期候補者を見つけることが難しいという声が、現役の推進員や学校現場から上がっています。</p> <p>そこで、各指定都市の推進員配置状況や人材確保の手法について、ご教示願います。</p> <p>①各推進員の配置状況等について、別紙調査票を用いてご回答をお願いいたします。</p> <p>②推進員または次期候補者を確保するための手法や工夫などがございましたらご回答ください。</p> <p>なお、本市では、人材養成講座を開催し、講座修了生を学校へ紹介しています。</p> <p>③各推進員を配置していることの効果・成果について、調査等を行っている場合には、その内容や結果をご教示ください。</p>	
協議題作成課：静岡市教育委員会事務局教育局教育総務課 (電話) 054-354-2369	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

## 2 静岡市

(提出議題)

地域学校協働活動推進員等の人材の確保について (別紙調査票あり)

(回答)

- ① 各推進員の配置状況等について、別紙調査票【様式 1-2】にて回答
- ② 推進員または次期候補者を確保するための手法や工夫など
- ・推進員の構成要員を地域の方のみに頼ると人員確保が難しくなるため、各学校の PTA の仕事の一部に推進員業務を位置付け、人員を確保している。
  - ・土日に行われる地域学校協働推進員が主体で行うイベント活動に、保護者にも参加をしてもらい、活動を実際に見て知ってもらう。その後興味がある方に声をかける。
- ③各推進員を配置していることの効果・成果について、調査等を行っている場合、その内容や結果について

2年に一度、地域学校協働活動に関するアンケートを実施している。直近では令和4年度に実施しており、今年度も実施する予定。対象は、地域学校協働活動を行っている学校の児童（各学年1クラス抽出）、保護者（各学年1クラス抽出）、推進員やボランティアの3カテゴリーである。

- 令和4年度アンケート項目および結果（効果・課題に関する項目のみ抜粋）  
 <児童対象>

・推進員主催の活動をどのように感じていますか。

	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	全然楽しくない	参加したことがないのでわからない	無回答
割合(%)	33.9	20.4	2.8	1.0	42.0※	0.0

※令和4年度は、コロナ禍で実施できない活動が多くあった。

・どんなところが楽しいですか。

	いろいろな遊びができる	楽しいイベントがある	同じ学年の人と遊べる	他の学年の人とも遊べる	地域の大人の人と一緒に遊んだり、いろいろと教えてもらったりすることができる。
割合 (%)	41.7	16.5	28.5	12.6	12.6

<保護者対象>

・この事業は次のどの点で役立っていると思いますか。(複数回答可能)

	安心安全な居場所づくり	地域の大人も含めての異年齢交流	健全育成	活動内容をよく知らないので判断できない
割合 (%)	56.2	54.5	37.5	10.4

<推進員・ボランティア対象>

・地域学校協働活動はどのような点で効果や利点があると思いますか。

(複数回答可)

	子どもが安心して過ごせる場所ができる	子どもが異学年の子どもと交流できる	地域の大人同士の交流ができる	子どもが地域の大人と交流できる	学校と地域、家庭が交流できる	地域の伝承や伝統芸能を子どもに伝えられる	特に有効だとは思わない
割合 (%)	79.5	70.7	40.3	64.4	27.1	12.3	1.6

・地域学校協働活動をよりよい活動にするためには、どんなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

	ボランティア拡充の工夫	活動内容の工夫	他校との情報交換	子どもたちの安心安全のための環境づくり	地域学校協働活動の地域、保護者への周知	自治会、コミ協等地域団体との連携、協力	学校との連携協力	PTAとの連携、協力
割合 (%)	56.7	44.1	23.6	43.6	45.8	24.7	42.2	39.5

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277)

No.	政令市名	学校数			配置人数		配置単位		謝金の有無		謝金単価・金額		謝金単価の根拠・考え方	一人あたりの年間活動時間実績 (R4)		今後の配置方針
		小学校	中学校	義務教育学校	統括	推進員	統括	推進員	統括	推進員	統括	推進員		統括	推進員	
1	札幌市	196	96	1	0	73	-	地域学校協働本部を設置している学校に1人以上	無	有	-	1,480円以内	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(国補助)実施要領による	-	委託費の範囲内で活動しており、本部によって大きな乖離あるため、集計していない。	令和6年度より教育委員会が委嘱する「地域学校協働活動推進員」の配置をモデル的に進めている。7地区の地域学校協働本部に10人の推進員を配置。謝金単価は1,400円。年間活動時間は100～200時間を想定。統括の配置はなし。
2	仙台市	9	2	0	0	15	区に1名	基本CS校区に1名	有	有	1,480	1,200	統括推進員は国補助最高額を、推進員は学校支援地域本部スーパーバイザーと同額	6h	34h	モデル校区を拡充しながら、全CS校区に推進員を配置したい。
3	さいたま市	104	58	0	61	164	地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の5第1項の規定により採用された再任用の職員を統括コーディネーターとしている。	市立小・中・特別支援学校に1人ずつ配置している。	有	有	198,750円/m	1,089円/h～1,380円/h ※再度の任用時は職務経験を考慮し、一定の金額を加算した時給になる。	再任用職員：さいたま市職員の給与に関する条例 会計年度任用職員：さいたま市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	1,395	1,328	学校地域連携コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を全ての市立小・中・特別支援学校に引き続き配置する。
4	千葉市	48	27	0	0	75	0	学校に1人	有	有	1,110円/回	0	年間予算を人数×10で割った数値	0	20	学校支援地域本部は年10校ずつ増置、地域学校協働活動は設置の予定なし
5	川崎市	114	52	4	0	71	なし	各小中学校に1人以上		有		1,480円/h	国の上限を参考		未集計	全学校へ推進員を配置できるよう推進予定
6	横浜市	317	131	2		1641		学校に1人以上	無	無		委託料の中から謝金として拠出することもある			不明	全校に推進員(横浜市では学校・地域コーディネーターと呼ぶ。)を配置できるよう計画を進めている。
7	相模原市	69	35	2		2		中学校区に1人		有		1,000円/h	他都市の実績等を踏まえ設定		17	令和6年までモデル事業として2中学校区を設定し、検証をした上で令和7年度以降についてもモデル事業を拡大する方向で進める予定である。
8	新潟市	67	0	0	67	237	小学校に1人	制限なし	有	有	1,400円/h	1,400円/h	不明	18.6	9.4	なり手不足を解消し、全小学校へ配置できるようにする。
9	静岡市	83	43	0	34	83	中学校区に1人	小学校に1人	有	有	1,000円/h	1,000円/h	不明	338.69	187.19	全中学校区へ統括的な推進員を配置できるよう、増員したい。(全小学校への配置は完了している。)
10	浜松市	96	48	0	15	87	各子供教室に1人以上	各子供教室に1人以上	有	有	1,416円/h	1,416円/h	学校・家庭・地域連携補助金実施要領に基づく	該当なし	該当なし	



令和6年度 指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 協議題調査票  
 地域学校協働活動推進員等の配置状況等について (R5. 4. 1時点)

【様式1-2】

【静岡市】

No.	政令市名	学校数			配置人数		配置単位		謝金の有無		謝金単価・金額		謝金単価の 根拠・考え方	一人あたりの年間 活動時間実績 (R4)		今後の配置方針
		小学校	中学校	義務教育学校	統括	推進員	統括	推進員	統括	推進員	統括	推進員		統括	推進員	
11	名古屋市	261	110	0	0	0	0	0	無	無	0	0	0	0	0	・学校については分校を除く。 ・社会教育法上の推進員については未設置。地域コーディネーターに類似する人材として、土曜学習プログラムコーディネーターなどがいる。
12	京都市	154	66	8			地域学校協働活動推進員は配置せず、地域コーディネーター（学校管理職経験者等）を教育委員会及び子ども若者はぐくみ局に29名配置している。									より一層の学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に向け、地域学校協働活動推進員の配置も視野に研究を進めていく予定。
13	大阪市	280	126	1	0	1,038	配置なし	小学校に平均3.7人（配置単位は決まっていない）	無	無	—	—	—	—	統計なし	全小学校区での配置を目指す。小学校区で配置されていない校区（280校中5校区）についても配置を働きかける。
14	堺市	92	43	0	-	106	-	小中学校	有	-	2,400円/回		不明	-	242	堺版コミュニティ・スクールにて学校長が推薦する地域コーディネーターを配置している。（地域コーディネーターを地域学校協働活動推進員としてみなしている。） 地域学校協働活動推進員等の在り方について検討中。
15	神戸市	162	83	2	配置無	104	配置無	配置のある各小学校に1人	無	有	配置無	※12,000円/月	不明	配置無	不明	放課後子供教室を実施する小学校を中心に、今後も増員していきたい。
16	岡山市	85	37	1	0	57	配置なし	中学校区または小学校区で1名以上 ※上限は地域学校協働本部がカバーしている学校園数+1名		有	配置なし	940円	最低賃金をふまえて単価を設定している	配置なし	38.1	全ての学校園の地域学校協働活動に推進員が関わることができるように配置を進めていく。
17	広島市	141	63	0	0	1	0	中学校に1人	無	有		930	広島県最低賃金		116	
18	北九州市	126	62	0	0	157	0	中学校区に数名	無	有	0	880円/h	不明	0	7.38	全中学校区に推進員を配置できているので、このまま継続できるようにしていきたい。
19	福岡市	146	-	-	6	10	行政区に1人	数校~数十校に1~2人	有	有	会計年度任用職員	委託先の業務遂行責任者	・年会給料表 ・国要綱	330	不明	
20	熊本市	92	42	0	0	0	0	0	無	無	0	0		0	0	今年度よりモデル校4校に地域コーディネーターの配置を行う。

※不明な項目は「不明」と記載してください。回答しにくい項目については、コメントの挿入等をしていただいても構いません。

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

浜松市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	地域学校協働活動について
<p>(提案理由)</p> <p>浜松市では、地域学校協働活動推進委員の役割を学校支援コーディネーター(教育委員会所管)と協働センター*職員(市長事務局所管)が分担し、地域学校協働活動を展開しています。学校支援コーディネーターは、学校運営協議会に委員として、協働センター職員は、オブザーバーとして出席し、学校運営協議会で話し合われた育てたい子供像等の目標やビジョン、活動計画などの情報を共有しています。</p> <p>学校支援コーディネーターは、学校運営協議会での話し合いを受け、学校運営に必要な学校支援活動を推進しています。最近では、協働センター職員と連携し、地域人材等の情報共有を図りながら、学校支援活動を実施する例も増えています。</p> <p>協働センターでは、学校教育外での活動の一部を推進しています。主催する事業に地域人材を活用し、子供たちの成長につながる取り組みを行っています。</p> <p>今後、地域学校協働活動の充実を図るうえで、他市の取組を参考にしたいと考え、本協議題を設定いたしました。</p> <p>つきましては、以下の点についてご教示ください。</p> <p>(1) 地域学校協働活動と公民館との関係について (活動事例や事業例がございましたら併せてお願いいたします)</p> <p>(2) 社会教育法に基づく、地域学校協働活動推進員の設置の有無</p> <p>(3) 地域学校協働本部の運営状況(実際に本部のメンバー等で会議を行っている等の事例がございましたら併せてお願いいたします)、課題や課題解決に向けた取組について</p>	
協議題作成課：浜松市 市民部 創造都市・文化振興課 (電話) 053-457-2413	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

\* 公民館と同等の施設、市内、ほとんどの中学校区に設置されている

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

## 3 浜松市

(提出議題)

地域学校協働活動について

(回答)

### (1) 地域学校協働活動と公民館との関係について(活動事例や事業例)

新潟市内の全ての小・中・高等学校で地域学校協働活動を実施しており、うち一部は公民館と共同で活動している。

主に、学校と公民館、地域の企画委員の三者で打ち合わせをし、活動している。公民館が講師を選定し、学校が活動の進行をし、地域の企画委員が準備等のサポートをしていることが多い。活動によっては講師がすべて受け持つ場合もある。

具体的には、防災講座(中学校)や生命に関する授業(小学校)等を実施している。

その他にも、学校と地域住民が定期的集まる「地域の茶の間」において、公民館が講師を派遣し、家庭教育に関するワークショップを行った。

コロナ禍以降、実施校が減少しているのが課題である。

### (2) 社会教育法に基づく、地域学校協働活動推進員の設置の有無

地域学校協働活動推進員は小学校に設置している。

### (3) 地域学校協働本部の運営状況、課題や課題解決に向けた取組について

新潟市内の全ての小・中・高等学校では、地域学校協働本部を学校に設置している。そのため、各学校における地域学校協働活動がより充実するように働きかけている。その中で、特に課題としていることは、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進である。現状では、学校運営協議会で話し合われた内容と地域学校協働活動のつながりが少ない学校が多い。

学校運営協議会で明らかになった学校や地域の課題解決のために地域学校協働活動が行われることが望ましい。

そのために、次の2点に重点を置く。

- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の質の向上のために、それぞれについて研修会を開催する。また、地域学校協働活動研修会の際に学校運営協議

- 会長の参加を要請し、地域学校協働活動についての理解を深めてもらう。
- ・各学校で作成する地域学校協働活動実施計画に学校運営協議会との一体的取組について記述する欄を設ける。

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

堺市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料（回答書）のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	各自治体における地域学校協働本部への対応について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、堺市教育委員会が令和3年2月に策定した「第3期未来をつくる堺教育プラン」(令和3～7年度)に基づき、地域学校協働活動の推進における有効な支援策について検討を行っているところです</p> <p>各自治体では、地域学校協働活動の推進について各種支援を実施されていることと存じますが、その中でも地域学校協働本部に対する事業を行っている場合、本部に対して、補助金や委託の形式での対応があると思われます。特に委託の場合、仕様において、多くの項目を設定した場合、地域ニーズとの乖離や地域人材等の高齢化や不足による地域側の負担感や行政側への反発が想定されます。</p> <p>つきましては、今後本市において、より効果的な地域学校協働活動の推進や地域学校協働本部への支援の参考にさせていただきたく、以下のとおりご教示いただけますでしょうか。</p> <p>① 地域学校協働本部（若しくは類似体）に対して業務委託を実施していますか。 (有・無)</p> <p>〔①で「有」と回答された場合にご回答ください〕</p> <p>② 委託項目についてご教示ください。(別添でも可)</p> <p>③ 1団体当たりの委託額についてご教授ください。</p> <p>④ 地域住民の負担軽減や地域間の細かいニーズに対応するような取組内容があればご教示ください。</p> <p>⑤ 学校教員の負担軽減の考え方について委託内容に反映されている内容があればご教示ください。</p>	
協議題作成課：堺市教育委員会事務局地域教育支援部地域教育振興課（電話） 072-228-7490 (備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。	

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

### 4 堺市

(提出議題)

各自治体における地域学校協働本部への対応について

(回答)

- ① 地域学校協働本部（若しくは類似体）に対して業務委託を実施していますか。  
（有・無）

〔①で「有」と回答された場合にご回答ください〕

- ② 委託項目についてご教示ください。（別添でも可）
- ③ 1団体当たりの委託額についてご教授ください。
- ④ 地域住民の負担軽減や地域間の細かいニーズに対応するような取組内容があればご教示ください。
- ⑤ 学校教員の負担軽減の考え方について委託内容に反映されている内容があればご教示ください。

（回答作成課）：新潟市教育委員会生涯学習推進課 （電話） 025-226-3277）

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

千葉市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	民間企業等による公民館活用事例について
(提案理由)	
<p>文部科学省地域学習推進課より、令和5年12月14日付け「社会教育法第23条第1項第1号の解釈の周知について」依頼があり、各地方公共団体と民間企業等との連携を更に促進するため、公民館で実施し得る事業の具体的な事例についての提示等がありました。</p> <p>本市では、民間企業等による公民館活用事例として、移動販売車巡回ステーションの設置などを実施しています。</p> <p>「つどい、まなび、むすぶ」場として公民館のより積極的な活用に向けて、本依頼文中「公民館で実施し得る事業」として示されているような具体的な事例などありましたらご教示ください。</p> <p>合わせて今後の公民館運営の参考といたく、社会教育法第23条の運用に係る例規・マニュアルなどありましたらご提供ください。</p>	
1 公民館活用事例	
・●●	
・△△	
2 社会教育法第23条の運用に係る例規・マニュアル等	
・□□運用基準	
・☆☆マニュアル	
協議題作成課：千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課 (電話) 043-245-5954	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 協 議 題 報 告 書

提案都市名

    熊本市    

協議方法の希望 ①【  】議題希望　・　②【○】資料（回答書）のみ ←【  】内に○を入力	
協議題	公民館における社会教育法第23条第1項第1号の解釈について
(提案理由)  昨今、民間企業から公民館利用許可についての問い合わせが増えてきております。昨年、社会教育法第23条第1項第1号の解釈について文科省からの通知があったところですが、具体例に照らし合わせることができない案件も多いため、営利事業であるかどうかの判断に苦慮することが多くなっております。 つきましては、各都市での民間企業の公民館利用の判断基準の現状を御教示ください。	
協議題作成課：熊本市文化市民局市民生活部生涯学習課　（電話）096-328-2736 -	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。



## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

### 5 千葉市・熊本市

(提出議題)

千葉市：民間企業等による公民館活用事例について

熊本市：公民館における社会教育法第23条第1項第1号の解釈について

(回答)

#### 1 民間企業等による公民館活用事例

- ・民間企業が主体となって開催する講座の実施

#### 2 民間企業の公民館利用の判断基準の現状

- ・特定の人に利益を生まない活動は施設利用を許可している。
- ・スポーツ施設など民間企業が利用できる施設も多くあるため、現在のところ公民館を活用した先進的な事例はない。

#### 3 社会教育法第23条の運用に係る例規・マニュアル等

- ・特になし

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

大阪市

協議方法の希望 ① <input type="checkbox"/> 議題希望 ・ ② <input checked="" type="checkbox"/> 資料 (回答書) のみ ← <input type="checkbox"/> 内に○を入力	
協議題	社会教育(生涯学習)施設の利用状況及び アフターコロナの利用回復・促進に向けた取組について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、生涯学習大阪計画に基づき3館の生涯学習センター(総合生涯学習センター、阿倍野市民学習センター、難波市民学習センター)を設置している。</p> <p>令和2年頃からの新型コロナウイルスの流行による休館や利用制限を経て、利用率は回復傾向にあるものの、企業や高齢者の多い団体の利用が減少するなど、変化が生じている。アフターコロナの社会状況の変化や新たな視点も踏まえ、利用の回復と新規利用者の獲得に努めているところである。</p> <p>次の(1)～(3)について、貴市の、学習・集会機能を担う社会教育(生涯学習)施設(主に生涯学習センター、公民館等。図書館、博物館は除く。以下、施設とする。)状況をご教示いただきたい。</p> <p>(1) 施設の利用率について (平成30年度～令和5年度の各年度の利用率の推移と、その説明) ※利用率については、報告書等、別添でも可</p> <p>(2) 施設の利用者等の具体的な変化について (例：高齢者団体の利用が減少した、等)</p> <p>(3) 施設の利用回復に向けた取組等について ・特に、施設の利用促進につながる、アフターコロナの社会状況の変化や新たな視点を踏まえた取組等について</p>	
協議題作成課：大阪市教育委員会事務局生涯学習担当 (電話) 06-6539-3347	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

## 6 大阪市

(提出議題)

社会教育(生涯学習)施設の利用状況及び  
アフターコロナの利用回復・促進に向けた取組について

(回答)

(1) 施設の利用率について

(平成30年度～令和5年度の推移とその説明) ※報告書等、別添可

利用率	H30	R1	R2	R3	R4	R5
公民館 平均	35.3%	31.3%	22.8%	26.0%	25.6%	27.2%

(2) 施設の利用者等の具体的な変化について

- ・高齢化により施設の利用率及び利用者数は減少傾向

(3) 施設の利用回復に向けた取組等について

- ・各公民館で加入者を募集しているサークルの一覧表を窓口配布し、施設利用を促す

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

岡山市

協議方法の希望 ①【 <input type="checkbox"/> 】議題希望 ・ ②【 <input checked="" type="checkbox"/> 】資料（回答書）のみ ←【 <input type="checkbox"/> 】内に○を入力	
協議題	公民館の事業方針と進行管理について
<p>(提案理由)</p> <p>公民館では地域の社会教育の拠点として、さまざまな分野の学習や活動を行っており、社会の変化にあわせて、新たな取組も進めています。一方で、限られた人員の中で優先順位をつけた取組が必要なため、本市では、平成31年に「岡山市立公民館基本方針」を策定するとともに、令和4年度に評価指標を定め、事業を推進しているところです。</p> <p>つきましては、各市における公民館の事業方針と事業の進行管理に関して、以下の点についてご教示ください。</p> <p>(1) 市内の公民館全体を対象にした基本方針・計画を策定している場合、方針、計画の名称と策定年度をご教示ください。</p> <p>(2) 公民館事業の評価を実施していますか。評価を行っている場合、その方法についてご教示ください。(公民館全体でなく一部の館のものでも可)</p> <p>(3) 公民館事業の評価に指標を定めている場合、その内容についてご教示ください。(公民館全体でなく一部の館のものでも可)</p> <p>※公民館は、名称に限らず、公民館機能のある施設を含んでご回答ください。</p>	
協議題作成課：岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課公民館振興室 (電話) 086-234-6015	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

## 7 岡山市

(提出議題)

公民館の事業方針と進行管理について

(回答)

(1) 公民館の基本方針・計画を策定している場合、その名称と策定年度

- 新潟市公民館事業の基本方針（令和2年度～令和6年度）
- 策定年度 令和2年度

(2) 公民館事業の評価を行っている場合、その方法について

公民館統一の個別事業用「事業評価シート」を使って事業評価を行っている。事業評価シートは、事業の概要、事業の実績と成果、評価の区分に分かれており、評価には事業担当の自己評価と館長評価がある。

自己評価は、必要性5項目、有効性3項目、効率性4項目からなり、参加状況やアンケートをもとに行う。館長は、それを受けて事業の拡大、継続、縮小、廃止の4段階評価を行う。

(3) 公民館事業の評価に指標を定めている場合、その内容について

○必要性に関する指標（事業そのものの必要性を評価する）

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

○有効性に関する指標（事業のやり方を評価する）

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

○効率性に関する指標（成果指標実績値を維持しながらコストを下げる余地があるか）

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費(または負担 0 円) は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

(回答作成課 :新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

札幌市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料（回答書）のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	学校と地域が連携した子どもの読書活動推進のための取組について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、学校と地域の連携により子どもの読書活動を推進すること、一般書・実用書等を配架し地域住民が利用可能な時間を設けることで地域住民の読書活動を推進すること、学校図書館を介して地域の大人と子ども、大人同士の交流機会を創出し、地域に開かれた学校づくりと地域全体で子どもを育成・支援する環境づくりを醸成することを目的として、「学校図書館地域開放事業」を実施しています。</p> <p>この事業は昭和53年から市教委が各学校のPTAに委託し、学校単位でボランティアを中心に、週3回を基本として、学校図書館を地域住民にも開放し、本の貸し出しや読み聞かせ、交流行事等を行っているものです。</p> <p><a href="https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/renke/tosho/kgaiyo.html">https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/renke/tosho/kgaiyo.html</a></p> <p>しかし、近年、担い手不足等から活動の縮小や事業継続が困難となる学校も出てきており、持続可能な在り方について検討をしているところです。</p> <p>つきましては、貴市における取組について、以下の2点をご教示ください。</p> <p>また、その取組がCSや地域学校協働活動として実施されている場合、その旨もご教示願います。</p>	
①学校図書館等を活用した地域との連携による取組事例。その現状と課題	
②上記以外で、学校と保護者や地域との連携による子どもの読書活動推進のための取組事例。その現状と課題	
協議題作成課：札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課（電話）011-211-3872	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

### 8 札幌市

(提出議題)

学校と地域が連携した子どもの読書活動推進のための取組について

(回答)

- ①学校図書館等を活用した地域との連携による取組事例。その現状と課題
- ・学校から、読み聞かせ等を行う学校図書館ボランティア養成等の希望があれば市立図書館から講師を派遣している。
  - ・学校からの依頼にあわせて、図書館で活動している読み聞かせボランティアを紹介している。
- ②上記以外で、学校と保護者や地域との連携による子どもの読書活動推進のための取組事例。その現状と課題
- ・特になし

(回答作成課 : 新潟市教育委員会中央図書館 (電話) 025-246-7700)



(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

京都市

協議方法の希望 ① 【 】 議題希望 ・ ② 【○】 資料（回答書）のみ ← 【 】 内に○を入力	
協議題	学校施設開放事業における、学校や地域での管理運営以外の手法の導入状況について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、学校施設開放事業として、学校教育活動に支障のない範囲で、余裕教室や体育館等の学校施設を地域の方にご利用いただいています。その運営は、地域住民・団体が構成される「管理運営委員会」に委ねていますが、運営に関わっていただける地域の人材不足等により、教職員がその業務や対応の大半を担っている学校もある状況です。</p> <p>そこで現在、教職員の負担軽減や施設の利用促進のため、学校や地域住民による管理運営以外の手法を検討しています。(具体的には、地域学校協働活動推進員を新たに設置し、その管理運営や調整を担っていただく等。)</p> <p>令和4年度社会教育主管課長会議においても同様のお尋ねがあった件で恐縮ですが、貴市における最新の導入状況をご教示ください。(その情報を掲載したHPへのリンクでも構いません。)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 学校施設開放事業における、学校や地域住民等による管理運営以外の手法を導入していますか。 ( 導入している ・ 導入を検討している ・ していない )</li><li>2 導入しているまたは検討している場合、どのような手法か教えてください。</li><li>3 成果や課題、その対策があれば教えてください。</li><li>4 導入(または検討)に係る経費(委託料、システム料、報酬等)を可能な範囲で教えてください。</li></ol>	
協議題作成課：京都市教育委員会生涯学習部生涯学習推進担当（電話）075-251-0410	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

## 9 京都市 1

(提出議題)

学校施設開放事業における、学校や地域での管理運営以外の手法の導入状況について

(回答)

1 学校施設開放事業における、学校や地域住民等による管理運営以外の手法を導入していますか。

(  導入している ・  導入を検討している ・  していない )

2 導入しているまたは検討している場合、どのような手法か教えてください。

① 管理指導員の配置

学校施設開放事業時に管理指導員としてシルバー人材センターのスタッフを学校に配置し、鍵の開錠・施錠や設備の点検、利用日誌の記入など、利用団体及び施設の管理を委託している。

② 公共施設、コンビニへ鍵の貸出業務を委託

学校の近隣にある公共施設やコンビニに鍵の貸出業務を委託している。(利用状況の把握等は区役所が担当)

3 成果や課題、その対策があれば教えてください。

①の場合、委託料が多くかかるため、学校の構造上(シャッター等で体育館以外には入れない)、鍵の貸出業務のみでよい学校施設は、①から②の方法に変更し、委託料を節減している。

4 導入(または検討)に係る経費(委託料、システム料、報酬等)を可能な範囲で教えてください。

○管理指導員の配置：委託料 人件費単価×時間数

○公共施設、コンビニへ鍵の貸出業務：委託料 月 5,000 円

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

横浜市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料（回答書）のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	生涯学習・社会教育関係職員の人材育成について
<p>(提案理由)</p> <p>本市では、生涯学習・社会教育関係職員の人材育成を目的とした職員研修等を実施しています。令和5年度は、ファシリテーション能力の向上を目指し講義やワーク、演習等を行いました。</p> <p>つきましては、貴市で実施している生涯学習・社会教育関係職員（社会教育主事、社会教育指導員、公民館等社会教育施設職員等）の研修内容について、ご教示いただきたくお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 令和3～5年度の研修テーマについて</li><li>2 上記1の研修実施主体について</li></ol> <p><b>本市で令和3～5年度に実施した生涯学習・社会教育関係職員研修等</b></p> <p><b>令和5年度研修テーマ【実施主体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファシリテーションの講義と実践 【横浜市社会教育コーナー（生涯学習文化財課委託）】</li><li>・ファシリテーション・グラフィック 【生涯学習文化財課】</li></ul> <p><b>令和4年度研修テーマ【実施主体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コーディネーターの発掘と育成のための提案 【生涯学習文化財課】</li><li>・企業・団体や若者の社会参加のすそ野を広げる要点を探る 【生涯学習文化財課】</li><li>・講座後の、参加者の次の一歩を後押しするための声かけとコーディネート 【生涯学習文化財課】</li></ul> <p><b>令和3年度研修テーマ【実施主体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティアとの関わり方 【生涯学習文化財課】</li><li>・人材バンク事業活性化のための関係職員研修 【生涯学習文化財課】</li><li>・ボランティアの活躍に向けた施設連携の実践～図書館編～ 【生涯学習文化財課】</li></ul>	
協議題作成課：横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課（電話）045-671-3282	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

10 横浜市

(提出議題)

生涯学習・社会教育関係職員の人材育成について

(回答)

<令和3年度>

○新任職員研修

- ・新潟市教育ビジョンの概要、コミュニティ・スクールについて

【教育総務課教育政策室】

- ・新潟市の生涯学習について、生涯学習センターの事業紹介

【生涯学習センター】

- ・生涯学習関係3課の業務説明【地域教育推進課・中央公民館・中央図書館】

- ・コンプライアンスについて

【生涯学習センター】

○管理職研修

- ・講話「市民起点の取組を目指して ～今、管理職として考えるべきこと～」

- ・グループディスカッション「管理職としての課題を解決しよう」

【食育・花育センター】

<令和4年度>

○新任職員研修

- ・新潟市教育ビジョンの概要、コミュニティ・スクールについて

【教育総務課教育政策室】

- ・生涯学習関係4課の業務説明

【地域教育推進課・中央公民館・中央図書館・生涯学習センター】

- ・講話「たくましく生き抜く力を育むために ～社会教育と学校教育の連携～」

【生涯学習センター】

- ・コンプライアンスについて

【生涯学習センター】

○管理職研修

- ・学校とつながるチカラ 企業×学校 【(株) 博進堂】
- ・学校とつながるチカラ 地域×学校 【新関コミュニティ協議会】
- ・講話「社会教育×学校教育 連携の未来 ～時間と場の想像と創造～」  
【教育次長】

<令和5年度>

○新任職員研修

- ・新潟市教育ビジョンの概要、コミュニティ・スクールについて  
【教育総務課教育政策室】
- ・生涯学習・社会教育のあり方 【生涯学習センター】
- ・講話「教え育てる⇒学び育つ ～小さい勇気をもって～」 【豊栄図書館】
- ・コンプライアンスについて 【生涯学習センター】

○管理職研修

- ・講話「学びの循環 ～学校教育と社会教育のあり方を考える～」  
【地域教育コーディネーター・社会教育委員】
- ・講話「教え育てる⇒学び育つ ～小さい勇気をもって～」 【豊栄図書館】

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

相模原市

協議方法の希望 ① <input type="checkbox"/> 議題希望 ・ ② <input checked="" type="checkbox"/> 資料 (回答書) のみ ← <input type="checkbox"/> 内に○を入力	
協議題	人材バンクについて
<p>(提案理由)</p> <p>相模原市社会教育委員会では、令和5年12月に研究調査報告書「もっと○○○公民館」を教育長に提出しました。この「もっと○○○公民館」では提案の一つとして、人材バンクへの登録、登録者向けの講師養成講座、登録人材と講座プログラムをセットにした登録情報を各公民館からオンラインで検索できるようなくみづくりなどの提案があります(33ページ)。</p> <p>相模原市では過去に人材バンク的な情報提供等を行っていたものの、現在は活発に利用されていない状況があり、今後どのような情報収集方法、運用方法が適切なのか研究するため、次の点につきまして、各市の状況をご教示ください。</p> <p>(1) 登録制度の有無とある場合の登録、運用方法 人材(人材)の登録制度の有無と制度がある場合は運用方法について。 また、一般利用の有無、一般利用がある場合の周知方法(インターネットでの公開、紙媒体での公開など)もお願いいたします。</p> <p>(2) 人材の見つけ方、学びの支援者をどのように見つけるか 団体、機関との連携どのように図っているか、人材登録等の周知方法、支援を必要としている人と支援者の橋渡しについてなど。</p> <p>(3) 課題と解決方法 課題と解決した方法がありましたらお願いいたします。</p>	
協議題作成課：相模原市生涯学習部生涯学習課 (電話) 042-769-8286	

もっと○○○公民館 ～ あなたはこの○○○にどんな言葉を入れますか ～

[https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/001/018/142/r0512\\_.pdf](https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page/001/018/142/r0512_.pdf)

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

## 1.1 相模原市

(提出議題)

人材バンクについて

(回答)

(1) 人材の登録制度の有無と、ある場合の登録、運用方法、一般利用の有無、周知方法（インターネット、紙媒体など）

○人材バンク登録制度の有無について

講師料が必要な講師紹介ガイドと無料で活動する生涯学習ボランティアバンクの2種類がある。

○運用方法について

市ホームページ上の専用フォームを利用して人材の検索から実績報告までを行う（電話相談も可）。

○一般利用について

令和5年度は、講師紹介37件、ボランティア44件の利用があった。  
また、市ホームページに連携している周辺自治体の「人材ガイド」を掲載し、広域的に情報共有を図っている。

(2) 人材のを見つけ方、学びの支援者をどのように見つけるか

（団体等との連携、人材登録等の周知方法、橋渡しについてなど）

○人材登録

3年に一度、講師紹介ガイド、生涯学習ボランティアバンクを更新

○講師紹介ガイド

市役所の各部署から推薦された講師を登録

○生涯学習ボランティアバンク

ホームページ、チラシ等で告知をして随時受付

(3) 課題と解決方法

登録者数の減少がみられるため、ボランティアバンク登録者自らが行う自主企画講座の支援などを通じて、市民にボランティアバンクの活動を知ってもらい、登録者自身のモチベーション向上と、登録者層の拡大を目指している。

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

神戸市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料（回答書）のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	社会教育主事・社会教育主事補・社会教育指導員の発令・配置状況、業務内容について
<p>(提案理由)</p> <p>今後、本市における社会教育・生涯学習の取り組みについて、より良いあり方を検討していくにあたり、担い手となる人材の活用は重要と考える。</p> <p>つきましては、社会教育主事・社会教育主事補・社会教育指導員それぞれについて、各都市における社会教育主事講習の受講者数や発令状況、また、配属先と具体的な業務内容をご教示願いたい。</p>	
協議題作成課：神戸市教育委員会事務局総務部総務課 (電話) 078-984-0615	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。



## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

### 1 2 神戸市

(提出議題)

社会教育主事・社会教育主事補・社会教育指導員の発令・配置状況、業務内容について

(回答)

- ① 社会教育主事講習の受講者数、②発令状況、③配属先、④業務内容

#### <社会教育主事>

各項目について、令和5年度状況を回答します。

- ①受講者数 15人  
②発令状況 23人  
③教育委員会事務局、公民館、図書館など  
④新潟市では、各学校におけるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の場に公民館職員(社会教育主事有資格者)が参加しており、学校や地域における課題の把握と、社会教育資源(公民館や図書館など)を活用した教育プログラムの展開が期待される。

#### <社会教育主事補>

該当なし

#### <社会教育指導員>

該当なし

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習推進課 (電話) 025-226-3277 )

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

川崎市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	社会教育分野におけるICT活用等の事例について
(提案理由) <p>川崎市社会教育委員会議では、適時性に留意しながら、社会教育に関する方針や計画等について、委員それぞれの専門的立場から協議しているところですが、デジタル化やインターネットによる情報化社会の進展に伴い、社会教育の分野においても、更なるICT活用等の取組の推進が必要であるという多くの意見があります。</p> <p>オンライン講座等の実施だけでなく、Webサイトに地図・写真・解説を掲載したデジタルツアーの開設や、文化財等のデジタルアーカイブ化などの提案もあるところですが、より多くの事例を参考にさせていただきたいと考えています。</p> <p>つきましては、貴市の社会教育分野におけるICT活用等の取組事例を御教示ください。</p>	
協議題作成課：川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課（電話）044-200-3304	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

### 1 3 川崎市

(提出議題)

社会教育分野における I C T活用等の事例について

(回答)

主に Facebook や LINE などの SNS を使った告知、Zoom を使ったオンライン講座（一部見逃し配信有）などデジタルメディアが主流で、デジタルツアーやデジタルアーカイブのようなデジタルコンテンツを駆使した費用の掛かる ICT 活用は行っていない。

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

福岡市

協議方法の希望 ① <input type="checkbox"/> 議題希望 ・ ② <input type="checkbox"/> 資料 (回答書) のみ ← <input type="checkbox"/> 内に○を入力	
協議題	生涯学習の情報発信ツールの活用について
(提案理由)	
<p>本市では平成 14 年から「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか」(<a href="https://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/">https://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/</a>) を運用しており、講座・イベント情報や公民館・サークル情報など、生涯学習に関するさまざまな情報を発信しています。また、地域における市民の主体的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する知識・経験を備えた講師・指導者情報をデータベース化し、市民の主体的な学びをサポートしています。</p> <p>しかし、令和 4 年度に実施した市政に関する意識調査の結果、本サイトの市民の認知度が低いことが判明したため、情報発信の強化や市民の認知度向上を図るため、貴市の状況等をご教示いただきたく、下記について別紙によりご回答をお願いいたします。</p>	
<ul style="list-style-type: none"><li>① 情報発信サイトや SNS 等の有無、名称等</li><li>② サイトの所管</li><li>③ 運営形態</li><li>④ 利用できる機能</li><li>⑤ 年間アクセス数 (令和 3～5 年度)</li><li>⑥ 保守点検等業務委託経費</li><li>⑦ 市民認知度</li><li>⑧ サイトの PR 方法 (市 HP、市政だより、SNS 他)</li><li>⑨ 課題</li></ul>	
協議題作成課：福岡市コミュニティ推進部生涯学習課 (電話) 092-711-4653	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

## 1.4 福岡市

(提出議題)

生涯学習の情報発信ツールの活用について (別紙調査票あり)

(回答)

別紙調査票【様式 1-3】により回答

福岡市学習情報システム「まなびあいふくおか」のような、複数の社会教育関係情報を横断する総合検索サイトはない。

Facebook や LINE を活用して情報を発信している。

(回答作成課 : 新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088)

(別紙) 調査票 「生涯学習の情報発信ツールの活用について」 (福岡市) 【様式1-3】

調査内容		( 新潟 ) 市
1	情報発信サイト、SNS等の有無	無
	名称 (サイト名、SNS等のアカウント名)	
	URL	
2	所管	
3	運営形態	
4	利用できる機能	
5	年間アクセス数	
	令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	
	令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)	
	令和5年度 (R5.4.1~R6.1.31)	
6	保守点検等業務委託経費	
7	市民認知度	
8	サイトのPR方法	
9	課題	

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

さいたま市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	働く世代の生涯学習と、地域活動への橋渡しについて
(提案理由)  本市では、第12期社会教育委員会協議の協議テーマを「働く世代の生涯学習と、地域活動への橋渡し」として協議を行っております。 現在、「働く世代が生涯学習を身近に感じるきっかけづくり」と「働く世代が地域活動につながる仕組みづくり」を課題として事例研究を行っているところですが、貴市における働く世代の生涯学習の現況について、好事例があればご教示ください。  (1) 働く世代が生涯学習を身近に感じるきっかけづくりについて 貴市において、普段、生涯学習に触れる機会の少ない働く世代の市民に対し、学習機会の提供や学習を行う意識付けを働きかける事例がありましたら、行政・NPO等の区別なくご教示願います。  (2) 働く世代が地域活動につながる仕組みづくりについて 貴市において、働く世代の市民が中心となり、多世代の交流などの地域づくりに繋がっている事例がありましたら、行政・NPO等の区別なくご教示願います。	
協議題作成課：さいたま市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課 (電話) 048-829-1704	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

## 15 さいたま市

(提出議題)

働く世代の生涯学習と、地域活動への橋渡しについて

(回答)

### (1) 働く世代が生涯学習を身近に感じるきっかけづくりについて

本市では、あらゆる世代の主体的な学習活動を推進するため、高等教育機関および企業と連携しながら、時代や社会の変化ならびに学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めている。

#### 【事業例① にいがた市民大学】

時代や社会の変化、新潟の地域性や課題、市民の学習ニーズに応えるため、「にいがた市民大学」を開設している。普段聞くことのできない大学講師や県外講師の講義を聴くことができる機会でもあり、受講しやすいよう学生の受講料を半額としている。

#### 【事例② 子育て学習出前講座】

小中学校で行う入学説明会や就学时検診など、多くの保護者が集まる機会を活用し、学校を会場に子育てに関する講演会を行っている。出前講座を希望する学校を事前に募り、希望する講座内容に対応できる講師を公民館が紹介している。

普段公民館に足を運ばない人たちへの意識啓発の機会となっている。

#### 【事例③ 家庭教育支援事業】

家庭教育について、保護者の意識啓発を促すことを目指し、市が作成した家庭教育支援プログラムを実践するファシリテーターを育成している。

昨年度は、育成したファシリテーターの活動機会拡大の一環として地元企業1社に協力を求め、家庭教育支援プログラムを活用した研修を企業内で実施することができた。

研修実施により、企業イメージが向上する仕組みを構築することができれば、さらに拡大できると考えている。



(2) 働く世代が地域活動につながる仕組みづくりについて

本市の公民館の役割は「社会教育の推進による地域活性化」であると考え、そのためには「ひとづくり（地域の担い手として子どもたちの健全な成長を促す）」と「地域づくり（住民間の関係性が強く助け合える地域の実現）」の両面に取り組むことが必要であると考えている。市内各公民館では、「地域の多世代交流事業」、「子どもの健全な成長を促すための家庭教育向上を支援する事業」、「子どもの健全な人格形成を支援する体験活動事業」のいずれかに該当する講座を実施している。

働く世代を地域活動へと直結させることは当市においても大きな課題だが、コミュニティ・スクールと連携・協働を進め、地域や学校が一体的に子どもの健全育成という共通認識の下、「地域づくり・ひとづくり」に資する地域活動へ参画していく流れをつくっていきたいと考えている。

(回答作成課 :新潟市教育委員会生涯学習センター (電話) 025-224-2088 )

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

新潟市

協議方法の希望 ① <input type="checkbox"/> 議題希望 ・ ② <input type="checkbox"/> 資料（回答書）のみ ← <input type="checkbox"/> 内に○を入力	
協議題	障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について
(提案理由)  学校卒業後の障がい者が、生涯を通じて学び、社会参加できるよう、ともに学び生きる共生社会の実現に向けた取組が急がれているが、その学習機会を提供できる場の仕組みづくりに苦慮している。  ボランティアを含む民間団体等と連携して取り組むことが必要であると感じているが、公民館を含め、まだそのノウハウに欠けており、手をつけられていない状況である。  各市で取り組まれている事例や配慮すべきこと等があったらご教授いただきたい。	
協議題作成課：新潟市教育委員会生涯学習センター （電話） 025-224-2088	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 札幌市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

札幌市では、特別支援学校等を修了した知的障がいのある方を対象に、社会生活によりよく対応できるよう、集団生活や体験の場を通して、公共マナーの習得や、スポーツ、調理などに取り組む成人学級を推進している。

事業の運営は、「トライ青年学級(一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会)」、「札幌トエ・ピラ会成人学級(市立札幌豊明高等支援学校)」の2団体に委託し、一般教養やマナー、コミュニケーション力の習得やスポーツ、社会見学、健康管理などの社会的自立に向けたプログラム活動を行っている。

(回答作成課: 札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課(電話) 011-211-3872)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 仙 台 市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

誰もが、障害の有無にかかわらず、共に学び、生きる共生社会を実現することを目指し、仙台市教育局生涯学習支援センター主催の障害者の生涯学習推進事業（現代的課題対応事業）「障害のある人もない人も共に学ぶ ミンナシテマザール」を令和5年度より実施した。詳細は別添資料のとおり。

上記のほか、令和6年度は文科省委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を活用し取り組んでいく予定である。

(回答作成課：仙台市教育局生涯学習部生涯学習課 (電話) 022-214-8886

仙台市教育局生涯学習支援センター (電話) 022-292-4875)

# ミンナシテ マザール

とは？



障害のある人もない人も  
共に学ぶプログラム

誰でも

いろいろ

安心して



学ぶことができます。

七夕飾り作りのようす

みなさんと穏やかな  
ゆったりした時間を  
過ごすことができました。



## Q & A



- Q** 障害があるので心配です…。
- A** 大丈夫です。障害の程度や当日必要なサポートなどを事前にお電話でお話させていただきます。当日も出入り自由で、休憩を取りながら参加できます。

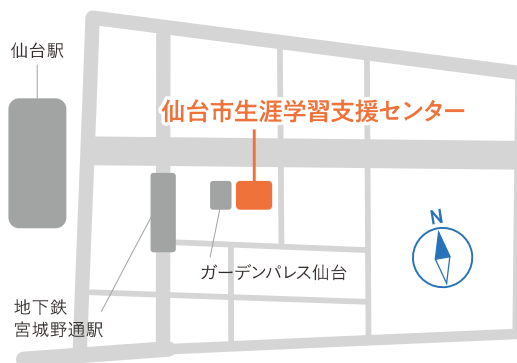
- Q** 障害がなくても参加できますか？
- A** もちろんです!! 障害のある人もない人も楽しめるプログラムを行っています。関心のあるテーマへの申込をお待ちしています。

- Q** ボランティアとして関わりたい。
- A** 大歓迎です! 右の2次元コードからお申込みください。日程や内容が決まり次第、ご連絡します。



申込  
問合せ

仙台市生涯学習支援センター  
TEL 022-292-4875  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8



障害のある人もない人も  
共に学ぶ

# ミンナシテ マザール



仙台市生涯学習支援センター  
令和6年3月

## 誰でも学べます

障害

年齢

などは問いません

まち歩きの様子



ミンナシテマザールは誰でも学べる場です。障害がある人、ない人。子ども、大人。外国にルーツのある方など、どなたでも大歓迎です。いろいろな人が、同じ時間・同じ空間を、自分のペースで楽しむことができます。その中で、新しい気づきや楽しさに出会えるかも知れません。

### ちがう視点の人と歩くと楽しい

のんびり楽しく過ごすことができました。先生がおっしゃっていた「ちがう視点の人と歩くと楽しい」がその通りだと思いました。



## いろいろ学べます

スポーツ

工作  
音楽  
など

いろいろ学べます

ボッチャの様子



ミンナシテマザールはいろいろなことが学べる場です。これまで、  
●七夕飾り作り ●パラスポーツ ●まち歩き  
●ダンス ●手話ソング ●ドラムサークル  
などに取り組んできました。これからも参加者の声から、新しいプログラムを計画していきます。

### 初めてでしたが楽しめました

初めての参加でしたがゴールボール、シャッフルボード、フライングディスク、ボッチャ、全て初体験でみなさんと楽しく過ごせました。



## 安心して学べます

自分の  
ペース

情報  
保障

事前  
確認

ドラムサークルの様子



ミンナシテマザールは安心して学べる場です。障害の程度や当日必要なサポートを、事前に電話で確認します。必要に応じて、手話通訳の準備をすることもできます。当日は途中で休んでも、帰っても大丈夫です。休憩する部屋もあり、自分のペースで参加できます。

### 自分のペースで参加できました

たいこをたたくの、たのしかったです。きゅうけい室、たたみのへや、ととてもよかったです。



令和5年度

障害のある人もない人も共に学ぶ  
ミンナシテマザール

のつくりかた



仙台市生涯学習支援センター

令和6年3月

## ミンナシテマザールって何？

「ミンナシテマザール」は「障がいのある人もない人も共に学べるプログラム」です。  
令和5年から仙台市生涯学習支援センターでスタートしました。

## ミンナシテマザールのようす

<p>6月 ミンナシテツクール</p>  <p>雑がみを使って七夕飾りを作りました。素敵な飾りが出来上がりました。</p>	<p>7月 ミンナシテスポーツ</p>  <p>ボッチャなどのパラスポーツを体験しました。チーム戦をするなどとても盛り上がりました！</p>	<p>9月 ミンナシテアルーク</p>  <p>達人と一緒にまち歩きをしました。今まで気付かなかった歴史や魅力を発見しました。</p>
<p>10月 ミンナシテシュワッチ&amp;ナラース</p>  <p>手話ソングとドラムサークルを体験しました。演奏を通じて皆さんの気持ちがつながりました。</p>	<p>12月 ミンナシテオドール</p>  <p>コミュニティダンスを体験しました。いろいろな人と一緒に身体を動かして楽しみました。</p>	<p>2月 ミンナシテカゲエル</p> 

## 参加者の声

- ・自由に好きなものを作っていいテーマだったからこそ、その人それぞれの個性いっぱい作品が沢山できあがったと思います。すごく楽しかったです。(ミンナシテツクール)
- ・フリスビーとボッチャ、何回もやりました。ボッチャがめっちゃめっちゃ調子がよかったです。(ミンナシテスポーツ)
- ・全体的に温かく、のんびり楽しく過ごすことができました。最後に先生がおっしゃっていた「ちがう視点の人と歩くと楽しい」がその通りだと思いました。いろいろな立場や状況の方と交わる機会をつくるための参考になりました。(ミンナシテアルーク)
- ・たいこをたたくの、たのしかったです。手話をおぼえられてうれしいです。きゅうけい室、たたみのへや、とってもよかったです。(ミンナシテシュワッチ&ナラース)
- ・体を動かすことで、皆とつながっているような感じで良かったと思います。(ミンナシテオドール)



## ミンナシテマザールのコツ

### 1 得意な人とつながる

スタートである令和5年度は、「障害のある人と一緒に活動したことがある人」と一緒にミンナシテマザールをつくりました。

＜令和5年度と一緒にミンナシテマザールをつくった人たち＞

美術作家、障害者スポーツ団体、まち歩きの専門家、障害者支援のNPO、専門学校など

### 2 誰もが楽しめるプログラムを考える

つながった人たちと一緒にプログラムを考えました。考える基準は、「誰もが楽しめる」こと。そのために、なるべく活動の中でやりたいことを選べるプログラムにしました。

(例) ミンナシテツクール

美術作家さんと一緒に6月24日にプログラムをすることになりました。時期が近いので、七夕飾りを作ることにしました。作る飾りは、自分で工夫して作っても、伝統的なものを作っても良いこととしました。伝統的なものを作る人用に、作り方の説明書や見本を準備しました。

当日は、参加者一人ひとりが思い思いの七夕飾りを作りました。とても素敵な飾りが出来上がりました！



＜七夕飾りの見本＞



＜作っているようす＞



＜出来上がった七夕飾り＞

### 3 参加者に配慮する

ミンナシテマザールではプログラムの他にも、障害のある人もない人も参加しやすい工夫をしました。

#### ◆ 情報保障

耳の聞こえない・聞こえにくい人のために、手話通訳者を準備しました。(令和5年度は希望なし)

#### ◆ 事前の聞き取り

申し込みをくださった方と事前に電話やメールで連絡を取り、当日の流れを伝えたり、必要なサポートを確認したりしました。

#### ◆ 参加の仕方

当日は途中の入退室や休憩を取れることにして、自分のペースで参加できることにしました。休憩場所として、別の部屋(令和5年度は和室)を用意しました。



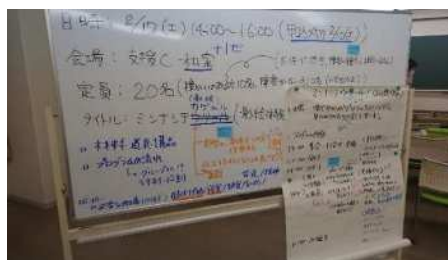
障害の有無、国籍、年齢、などを越えて、さまざまな人たちが混ざり合い、楽しめる講座になりました！

## 「ミンナ」をふやす～職員研修

ミンナシテマザールは、プログラムを行うだけではありません。

障害のある人もない人も共に学べる場を「つくる人の学びの場」でもあります。

令和5年度は、仙台市の市民センター職員が、障害のある人と一緒にミンナシテマザールのプログラムを考えました。どんなプログラムだったら、どんな気配りをしたら、どんな準備をしたら、障害のある人もない人も共に学べる場になるのかを考え、実施しました。



<研修のようす>

【参加者の声】・様々な障害に対応して学びを提供する事に、消極的でしたが、対象者を理解する事は、基本であり合理的配慮が必要であると学んだ。講座企画を企画する手法は、これからの学びのカタチとして取り入れて行きたいです。

・自分にはなかった様々な視点を身につけられた研修だった。頭では、障がいのあるなしに関わらず多くの方が楽しめる企画を、と考えていながらも、企画の細かい内容や準備物などなど、多くの点について自分視点で物事を考えていたのだなと気付かされた。市民センターとして講座を企画する際にも、いろいろな角度から見えて講座内容をブラッシュアップしていくということを忘れずにいたいと思った。

## ミンナシテマザールが始まるまで

障がいがある人の学ぶ場や、障がいのある人もない人も共に学ぶ場づくりが全国で進んでいます。

そのきっかけをいくつか紹介します。

### ◆ 障害者権利条約の批准（平成26年）

「障害がある人が生涯にわたって学ぶことができるような環境を国が作る」と書かれています。

### ◆ 障害者差別解消法の施行（平成28年）

「障害がある、という理由だけで差別されないこと」「合理的配慮（障害のある人が困っている時にその人の障害に合った必要な工夫ややり方を相手に伝えて、それを相手にしてもらおうこと）」について書かれています。

### ◆ 文部科学大臣メッセージ（平成29年）

「障害のある人が学ぶことができる機会を地域につくること」「今ある様々な学ぶ場を、障害の有無にかかわらず共に学ぶことができる場にしていくようにすること」が書かれています。

### ◆ 仙台市社会教育委員の会議（令和3年）

「障害がある人の学びたいことが学べる場をつくること」「障害がある人もない人も共に学べる場をつくること」の大切さが書かれています。

<発行>仙台市生涯学習支援センター 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 TEL: 022-292-4875 発行日: 令和6年3月31日

令和5年度 障害者の生涯学習推進事業 実施計画

分類	概要	活動内容	連携先
主催講座 (ミンナシ テマザール )	創作活動ワークショップ 6月17日(土) 14時~16時	絵画や布絵、コラージュなど 様々な技法、画材を使って作品 作りをする。	佐竹真紀子氏(美術作家)
	インクルーシブスポーツ体験 7月1日(土) 14時~16時	ボッチャやモルックなど、誰で も楽しめる障害者スポーツを 体験する。	(一社)仙台市障害者スポーツ 協会
	まち歩きワークショップ 9月16日(土) 14時~16時	まち歩きを通して、仙台の歴史 や自然、町の魅力等に触れる体 験をする。	佐藤正実氏(風の時編集部)
	歌・楽器演奏ワークショップ 10月21日(土) 14時~16時	ドラムサークルや手話ソング などを通して障害の有無に関 わらず楽しめる音楽表現を体 験する。	NPO 法人とっておきの音楽祭
	身体表現活動ワークショップ 12月16日(土) 14時~16時	わくわくダンスやヨガなど、誰 でも楽しめる身体表現活動を 体験する。	NPO 法人すんぷちよ
	企画員による講座 令和6年2月17日(土) 14時~16時	研修と連動し、企画員が企画し たプログラムを実施する。	仙台ひと・まち交流財団
2 研修 (年5回)	障害者の生涯学習に関わる人 材の育成	市民センター職員等から企画 員を募集する。主催講座の見学 や座学等でプログラムについ て学んだ後、講座を企画・実施 する。	・仙台ひと・まち交流財団 ・アーチル ・健康福祉局障害企画課
3 ネットワ ーク会議	障害者の生涯学習に係る 団体同士のネットワークを構 築する。	各プログラムの講師、ボランテ ィア等が集まり、互いの活動や プログラムの共有を通して顔 の見える関係を構築する。	・上記連携予定先 ・庁内関係各課
4 その他	市民センターにおける他局等 主催講座の開催	・ボッチャ大会 ・eスポーツ大会 ・支援者向け講話など	・障害企画課 ・特別支援教育課 ・アーチル など

令和6年度 障害者の生涯学習推進事業 実施計画（予定）

分類	概要	活動内容	連携先
1 主催事業 (ミンナシテ マザール)	① 身体表現ワークショップ 令和6年6月15日(土) 14時~16時@1セミ	誰でも楽しめる身体表現活動を体験する。	J-POP DANCE SENDAI【連絡済】
	② 創作活動ワークショップ 7月13日(土) 14時~16時@1セミ	雑がみ等を材料に、七夕飾りを作成する。	せんだいメディアテーク【連絡済】 雑がみ部 佐竹真紀子氏(調整中)
	③ 縄文ワークショップ 9月28日(土) 14時~16時@1セミ	出前講座と製作体験を通して、仙台の縄文時代を学ぶ。	縄文の森広場【連絡済】
	④ 歌・楽器演奏ワークショップ 11月17日(日) 14時~16時@体育館	電子楽器体験など、障害の有無に関わらず楽しめる音楽表現を体験する。	MASaking(ミュージシャン) (公財)かけはし芸術文化振興財団 (調整中)
	⑤ インクルーシブスポーツ体験 12月21日(土) 14時~16時@体育館	ボッチャやモルックなど、誰でも楽しめる障害者スポーツを体験する。	(一社)仙台市障害者スポーツ協会 【連絡済】
	⑥ 企画員による講座 令和7年2月22日(土) 14時~16時	研修と連動し、企画員が企画したプログラムを実施する。	仙台ひと・まち交流財団
2 研修 (年5回)	障害者の生涯学習に関わる人材の育成 (現代的課題対応実践研修)	市民センター職員等から企画員を募集する。主催講座の見学や座学等でプログラムについて学んだ後、講座を企画・実施する。	・仙台ひと・まち交流財団 ・社会教育施設 ・関連部署(アーチル、障害企画課など)
3 その他	市民センターにおける他局等主催講座の開催 名義共催・後援	・ボッチャ大会 ・インクルーシブスポーツキャラバン ・eスポーツ大会 ・支援者向け講話など	・障害企画課 ・特別支援教育課 ・アーチル ・障がい者サポーターズ Golazo! など

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 さいたま市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

#### (1) 生涯学習振興課の取組

さいたま市聴覚障害者協会に委託し、聴覚障害者のための社会教養講座を開設している。また、障害のある児童とない児童の交流事業として、市内で活動する学生サークルへの補助金支出を行っている。

#### (2) 公民館の取組

平成30年度から「生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館事業方策」に、「障害者が地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、障害をテーマとした事業や障害者に配慮した事業を実施するなど様々な学習機会を提供する」ことを盛り込み、全公民館において障害者の生涯学習の推進に向けた事業を実施している。

また、令和3年10月に本市公民館運営審議会から提出された答申「障害者の生涯学習を推進する公民館事業のあり方について」では、障害のある方の生涯学習を推進するためには、『公民館事業を通じた障害のある方と地域とのつながりづくり』や『障害のある方とない方の交流の場の拡充』、『公民館事業の設計・実施にあたっての合理的配慮』、『公民館施設の整備』が必要であり、障害のある方の公民館活動参加へのハードルを低くすることで、より一層の推進を図ることが可能となる旨の指摘があった。この答申を受け、各公民館においては、障害のある方が人生を豊かにするために、多様な形態で質の高い学びができ、学んだことを生かし活躍できるような事業を実施するとともに、その情報を提供できるようにすることで、障害者の生涯学習のさらなる推進を図っている。

#### (3) 図書館の取組

ボランティア団体の協力のもと、デイジー図書などの録音資料や点字資料の作成・収集・貸出や、対面朗読を行っている。そのほか、講座開催時の手話通訳の手配や、来館が困難な方には資料の宅配を行っている。

- (回答作成課：(1) さいたま市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課  
(電話) 048-829-1704
- (2) さいたま市教育委員会事務局生涯学習総合センター  
(電話) 048-643-5651
- (3) さいたま市教育委員会事務局中央図書館資料サービス課  
(電話) 048-643-5651)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 千葉市 \_\_\_\_\_

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

ボランティアセンターを活用し受講のサポートするよう配慮をしている。  
具体的には、令和5年度は、特別支援学校・学級の児童・生徒と保護者を対象にした和菓子教室とスポーツチャンバラ講座を開催した。また、公民館職員向けの研修において知的障害を持つ方の支援について取り上げました。

(回答作成課 : 千葉市生涯学習部生涯学習振興課 (電話) 043-245-5957 )

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 川崎 市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

本市では、障害（主に知的障害）のある人を対象に社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることを目指して障害者社会参加学習活動を実施しています。障害者社会参加学習活動については、重度や在宅の障害者への学習提供のあり方などが課題となっています。

事業名：障害者社会参加学習活動

実施主体：各区生涯学習支援課（教育文化会館・市民館 7館）

対象者：主に知的障害のある市民

回数／年：20時間以上／館

参加者／年：20人以上／館

主な内容：バスハイク、レクリエーション等

予算（令和6年度）：1,116千円

事業目標：地域での体験活動、交流等の学習機会を提供することを通して、障害のある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現を目指す。

(回答作成課：川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課 (電話)044-200-3339)



## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 横浜市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

障害者の生涯学習については、本市においても課題（着手できていない）ではありますが、まずは庁内の所管課で調整するところからだと考えます。

本市は公民館がない代わりに、いわゆるコミュニティセンターのような機能を持つ指定管理施設が多数存在しますが、それぞれにおいて所管課が異なります。そのため、まずはそれぞれの機能を持つ施設について、障害者の利用状況や学びの場の提供などの調査等を通じ、関係課が情報共有しながら調整していく必要を感じています。

(回答作成課 : 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課 (電話) 045-671-3282 )

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 相模原市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

生涯学習センターで「アート体験 旅する紙コップ」と、演奏会「～インクルーシブな世界と一緒に音楽を楽しもう～」を開催しました。

開催の概要は別紙チラシのとおりです。

(回答作成課：相模原市教育委員会生涯学習部生涯学習課（電話） 042-769-8286)

# 青山学院大学 Moderato吹奏楽部愛好会 演奏会

・日時:2024年3月15日(金)

・時間:受付13:00~

演奏開始13:30~

・場所:相模原市立総合学習センター

4F 大会議室

・募集人数 100名

障害のある方で市内に在住か  
在勤、在学の15歳以上の方

・募集期間

2月19日(月)から3月11日(月)

【お申込み・お問い合わせ】

生涯学習センター(相模原市立総合学習センター内)

住所:相模原市中央区中央3-12-10

Tel:042(756)3443

Mail:silc@sagamihara-kng.ed.jp

主催 相模原市教育委員会

共催 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会

絵:生活介護ぽこあぽこ

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 静岡市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

生涯学習施設の運営については、指定管理者が実施しており、業務仕様書の中に社会的包摂の実現に向け理解を促進する講座等の実施をうたっている

具体的には、講座や体験活動を通して障がい者の居場所づくりを行うもの、高齢者と障がい者を対象にした交流会、障がい者とその家族に向けたコンサートにより文化に触れる機会の提供等を実施している。

学びの機会の提供においては、障がい者の特性により必要な配慮をしている。なお、上記記載のコンサートでは、出入り自由、椅子に座らなくても大丈夫、舞台に上がってもいいといったように、誰もが楽しめる自由なコンサートとしている。

(回答作成課 : 静岡市市民局生涯学習推進課 (電話) 054-221-1207)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 浜松 \_\_\_\_\_ 市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

- ・文部科学省委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」の受託者と連携を密にし、今後の取組について模索していきたい。

(回答作成課 : 浜松市市民部創造都市・文化振興課 (電話) 053-457-2413)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 名古屋市 \_\_\_\_\_

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

本市では、各区 16 生涯学習センターで障害者問題に関わる講座・事業を年度内に少なくとも 1 回は取り扱うこととしている。

また、障害者問題に関わる講座・事業だけでなく、そのほかの講座でも、受講対象に、障がい者の優先枠を設けることで、障がい者に学びを提供する機会としている。具体的には、障がい者を受講対象とした、書道やダンスなどを学ぶことができる講座・事業を開催している。こうした講座・事業は、同じ生涯学習センターで、内容を固定して開催することで、安心して受講ができるようにし、受講者同士のつながりや、受講者と講師のつながりをつくることできている。

また、講座・事業に参加した障がい者の方々の学習成果還元の間として、各区 16 生涯学習センターで行われる「生涯学習センターまつり」で、作品の発表などを行うことで、学びの機会を広げていく取組みをしている。

(回答作成課 : 名古屋市教育委員会生涯学習部生涯学習課

(電話) 052-950-5045 )

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 京都市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

- 1 障害のある人が文化芸術に触れ、創造する機会を創出するため、また、より多くの市民に障害者芸術及び障害について知ってもらうことを目的として、平成30年度から以下の事業を実施している。
  - (1) 総合支援学校や障害福祉関係施設へ障害者芸術の専門家を派遣し、コーディネーターを育成
  - (2) 作品展示会の開催（令和5年度）
    - ・天才アート2023 in ふしみ！  
伏見区で初の開催。作家10名の作品展示や、グッズの展示販売も実施
    - ・天才アート展2023 open studios  
制作の場であるアトリエに作家40余名の作品を一堂に展示。
- 2 京都障害者芸術祭実行委員会（京都府が事務局、京都市は実行委員会メンバー）が、障害者の芸術紹介・育成を行い、障害者の社会参加の促進を図ること目的として「京都とおきの芸術祭」を開催。詳細は以下のHPを参照。<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000319174.html>
- 3 知的障害者の生涯にわたる学習の機会の拡充を目的として、「京都市知的障害者学習ホームひかり学園」を設置。知的障害者の学習のための施設の提供及び学習に関する相談業務を行っている。
- 4 障害のある市民の生涯学習機能の拡充を図るため、聴覚障害、知的障害、視覚障害のある方向けに、各種障害者団体へ委託し、成人講座を実施している。成人講座の内容としては、パソコン講座やIT講座をはじめ、手話講座やクラブ活動等、障害の内容に合わせた講座を実施している。

(回答作成課 : 京都市障害保健福祉推進室 (電話) 075-222-4161  
京都市教育委員会指導部総合育成支援課 (電話) 075-352-2285)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 大阪 \_\_\_\_\_ 市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

「生涯学習大阪計画」(令和4年3月第4次改訂)に基づき、障がいのある人の学習機会を保障するとともに、社会参加を促進することは、本市の生涯学習における大きな施策の一つである。

本市事業「障がい者成人学校」は、「知的障がい及び視覚・聴覚障がいのある人の文化・教養の向上を図るとともに社会人として充実した生活を送るために、社会生活に必要な知識・技術を習得する機会、体育及び文化活動に参加する機会の提供及び、仲間づくりと自主性の育成を図ること」を目的としている。

事業の実施に際して、事業目的に合致した事業内容を実施するには、その障がいの特性を十分に把握し、ニーズ、人材、実施方法に至るまで、市内の障がい者の状況を的確に把握して対応し、かつ同種の事業に大きな実績を有し、企画できる専門的な資質が必要である。

このように、障がいの特性を理解し、学習機会の保障と社会参加の促進を図る事をもっとも効果的・効率的に実施できるのは下記の法人等であることから、本事業を各団体に委託している。

委託契約の相手方

(1) 障がい者交流学習事業

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

(別紙1 障がい者交流学習事業報告 参照)

(2) 聴覚障がい者成人学校

大阪市聴言障害者協会

(別紙2 視覚障がい者成人学校報告 参照)

(3) 視覚障がい者成人学校

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

(別紙3 聴覚障がい者成人学校報告 参照)

(回答作成課 : 大阪市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当

(電話) 06-6539-3347)



(別紙1)

## 令和5年度「仲間づくりの教室」実施報告書

回	月	日	午 前	午 後	場 所	受講者
			10:00~12:00	13:00~15:00		数
1	4	16	開 講 式		府立住之江支援学校	95
2	5	7	生け花・手工芸	生け花・手工芸	阿倍野市民学習センター	70
3	5	21	生け花・手工芸	生け花・手工芸	阿倍野市民学習センター	60
4	6	4	生け花・手工芸	生け花・手工芸	阿倍野市民学習センター	66
5	6	18	生け花・手工芸	生け花・手工芸	阿倍野市民学習センター	57
6	7	2	お楽しみ会 1	お楽しみ会 1	阿倍野市民学習センター	68
7	7	16	お楽しみ会 1	お楽しみ会 1	阿倍野市民学習センター	58
8	8	8	音楽・創作	音楽・創作	阿倍野市民学習センター	65
9	8	20	音楽・創作	音楽・創作	阿倍野市民学習センター	57
10	9	3	音楽・創作	音楽・創作	阿倍野市民学習センター	65
11	9	17	音楽・創作	音楽・創作	阿倍野市民学習センター	54
12	10	1	スポーツ大会		府立住之江支援学校	94
13	10	14	スポーツフェスタ2023大阪		ヤンマースタジアム長居	15
14	11	5	室内レクリエーション	室内レクリエーション	阿倍野市民学習センター	63
15	11	19	室内レクリエーション	室内レクリエーション	阿倍野市民学習センター	53
16	12	3	年賀状づくり	年賀状づくり	阿倍野市民学習センター	64
17	12	17	年賀状づくり	年賀状づくり	阿倍野市民学習センター	59
18	1	7	新春を祝う会		阿倍野市民学習センター	79
19	1	21	お楽しみ会 2	お楽しみ会 2	阿倍野市民学習センター	60
20	2	4	お楽しみ会 2	お楽しみ会 2	阿倍野市民学習センター	60
21	2	18	開 講 式		府立住之江支援学校	106
延べ受講者数						1355

受講生147名(男性86名 女性61名)

## 令和5年度 視覚障がい者成人学校

## 学習プログラム

	開催日時	学習内容	場所・講師
1	5/12 (金) 10:00~12:15	開校式及び第1講座 「楽しい英会話」	難波市民学習センター スタジオ 講師 久部 幸次郎 氏
2	5/22 (月) 13:15~15:30	第2講座 体験学習 「フラワーアレンジメント①」	大阪市長居障がい者スポーツ センター 講師 小山 光子 氏
3	6/30 (金) 9:45~12:00	第3講座 「ミュージックケア①」	大阪市長居障がい者スポーツ センター 講師 東田 和子 氏
4	10/6 (金) 13:30~ 15:30	第4講座 「音楽鑑賞会」	ホテルアウイーナ大阪 講師 橋本 陽子 氏
5	11/8 (水) 14:00~16:00	第5講座 体験学習 「お作法体験」	難波市民学習センター和室 講師 北野 宗和 氏
6	12/25 (月) 13:30~ 15:30	第6講座 体験学習 「フラワーアレンジメント②」	大阪市長居障がい者スポーツ センター 講師 小山 光子 氏
7	令和6年 2/16 (金) 9:45~ 12:00	第7講座及び開校式 「ミュージックケア②」	大阪市長居障がい者スポーツ センター 講師 東田 和子 氏

## &lt;参加人数&gt;

第1講座 13名 第2講座 30名 第3講座 21名 第4講座 73名  
 第5講座 16名 第6講座 30名 第7講座 18名 合計 201名

## 令和5年度 視覚障がい者国語教室

## 学習プログラム

1. 実施日 令和5年9月14日(木)、10月12日(木)、11月2日(木)、  
12月14日(木)、令和6年1月12日(金)、2月8日(木)  
※全6講座
2. 時間 13:30~15:30
3. 場所 大阪市立社会福祉センター3階会議室
4. 講師 木戸口 恭子氏 大阪府立視覚支援学校 元教諭

## 5. 学習内容

第1講座	開校式と学習方針説明
第2講座	話題の出版物の紹介、流行語について他
第3講座	新聞記事の読み聞かせ、俳句の季語について
第4講座	今年の重大ニュース、来年への抱負等
第5講座	季節の挨拶文、新刊書から書く楽しさを学ぶ
第6講座	閉校式、意見交換会

※また全講座を通じて四文字熟語、同音異義語等漢字の学習を、個々の視力に応じて拡大文字、レーザーライター(書いた文字が浮き彫りになる)、音声パソコン等を使用して習得してきた。

## &lt;参加人数&gt;

第1講座 6名 第2講座 5名 第3講座 6名 第4講座 2名  
第5講座 3名 第6講座 4名 合計 26名

(別紙1)

## 令和5年度 聴覚障がい者成人学校1 実績報告書

開催場所：大阪市立阿倍野市民学習センター

大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 あべのベルタ3階

開催時間：講義 午後6時30分～午後8時30分

回	月日	学習内容・講師	通訳者	参加者
1	6/13(火)	「ペットと上手につきあうには」 ひょうたん山動物医療センター 愛玩動物看護師 小原 洋子	手話通訳者 2名	21名
2	6/27(火)	「大正から昭和初期までのろう教育・ 手話法から口話法へ移行期」 日本ろうあ史研究会 事務局長 辻 久孝	—	15名
3	7/11(火)	「重複聴覚障害者との出会いから教えられたこと」 公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 内野 さとみ	—	15名
4	7/16(日)	社会見学 大阪市下水道科学館	手話通訳者 2名	17名
5	7/25(火)	「トレーニング～デフリンピック・デフサポートとは？」 公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 丘村 彰敏	—	13名
6	8/8(火)	「老後を楽しむには？」 介護福祉士 藤森 美里	手話通訳者 2名	16名
7	8/22(火)	「ワクチンを知ろう！」 わしおこども病院 理事会 鷺尾 隆太	手話通訳者 2名	17名
8	8/29(火)	「防災意識を高めましょう！！」 さかい聴覚障害者防災ネットワーク 防災士 高塚 稔	—	17名

参加者 のべ 131名

(別紙2)

## 令和5年度 聴覚障がい者成人学校 2 実績報告書

開催場所：大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター4階会議室

大阪市東成区中道 1-3-59

開催時間：講義 午後6時30分～午後8時30分

テーマ：「お金のおはなし」

回	月日	学習内容・講師	通訳者	参加人数
1	9/26(火)	「給与明細から可処分所得を計算しよう」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 1名	16名
2	10/10(火)	『源泉徴収票』から知る私たちの税金」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 1名	13名
3	10/24(火)	「いざというときの備え 『社会保険』について知ろう」 社労士FP事務所チャレンジャー・ガーディアン 久保田 あきみ	手話通訳者 1名	14名
4	11/14(火)	「老後の年金は公的年金だけで大丈夫？ 今からできることを考えよう」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 1名	18名
5	11/28(火)	「自分のリスク、必要な保険、不要な保険を 押さえておこう」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 1名	13名
6	12/12(火)	「クレジットカード・ローン活用の基本を 押さえよう」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 1名	15名
7	1/16(火)	「人生100年時代 自由な発想でライフプランを描いてみよう」 やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子	手話通訳者 2名	12名

参加者のべ 101名

(別紙3)

## 令和5年度 聴覚障がい者国語・口話教室 実績報告書

## 国語教室

開催場所：大阪市立阿倍野市民学習センター  
 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階  
 開催時間：午後6時30分～午後8時30分

	月日	参加人数	学習内容	講師
1	7/10(月)	8	歴史のはなし	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 磯野 孝
2	7/24(月)	14	慣用句とコラム	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
3	7/31(月)	11	生活に役立つ漢字のはなし	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 徳田 幸子
4	8/7(月)	8	はやり言葉と手話	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 徳田 幸子
5	8/21(月)	10	よく見るカタカナ語とコラム	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
6	8/28(月)	10	時事問題	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 時岡 滋樹
7	9/4(月)	12	電話リレーサービス マナー(1)	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 長宗 政男
8	9/11(月)	13	和製カタカナ語とコラム	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
9	9/25(月)	13	読めそうで読めない漢字	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 徳田 幸子
10	10/2(月)	6	スポーツのはなし	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 山脇 圭二
11	10/16(月)	8	学ぶときに役立つ手話とコラム(1)	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
12	10/30(月)	10	学ぶときに役立つ手話とコラム(2)	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
13	11/13(月)	9	ことわざと手話、コラム(1)	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
14	11/20(月)	8	デフスポーツとデフリンピック	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 今西 伸行
15	11/27(月)	9	脳トレ 漢字クイズ(1)	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 徳田 幸子
16	12/4(月)	11	電話リレーサービス マナー(2)	公益社団法人大阪聴力障害者協会 常任理事 長宗 政男
17	12/11(月)	7	ことわざと手話、コラム(2)	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
18	1/22(月)	12	薬に関する言葉	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 高木 優
19	1/29(月)	10	ことわざと手話、コラム(3)	元大阪府立生野高等聾学校教諭 栖川 興道
20	2/5(月)	7	脳トレ 漢字クイズ(2)	公益社団法人大阪聴力障害者協会 理事 徳田 幸子

参加数 のべ 196名

口話教室

開催場所：J:COM 中央区民センター（大阪府中央区久太郎町 1-2-27）			
大阪市立中央会館（大阪府中央区島之内 2-12-31）			
開催時間：午後6時30分～午後8時30分			
講師：元大阪府立生野聴覚支援学校 校長 坂井 美恵子			
	月 日	参加人数	学 習 内 容
1	9/12(火)	7	情報補償 について
2	9/26(火)	6	
3	10/ 3(火)	6	
4	10/17(火)	6	
5	10/24(火)	6	
6	10/31(火)	3	聴力図の (聞こえ) 見方
7	11/ 7(火)	3	
8	11/14(火)	4	
9	11/28(火)	3	
10	12/ 5(火)	4	定型詩 (短文)
11	12/12(火)	3	
12	12/19(火)	3	
13	1/16(火)	4	
14	1/23(火)	3	
15	1/30(火)	2	連絡文 (1W5H)
16	2/ 6(火)	2	
17	2/20(火)	2	
18	2/27(火)	4	
19	3/ 5(火)	2	
20	3/12(火)	4	

参加人数 のべ 77名

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 堺市 \_\_\_\_\_

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

本市では障害のある方の社会参加、地域生活を支援するとともに、障害者と市民の方々が交流を通じて相互理解を図ることを目的に、堺市立健康福祉プラザを設置しています。

堺市立健康福祉プラザでは、障害者の学びの機会の一環として、文化芸術教室や障害者スポーツ教室を実施しています。

また、障害者アートに関する取組では、毎年 sakaiARTcation を 11 月に開催しており、障害のある方が作成されたさまざまな作品を募集し、すべての作品を展示しています。

なお、本市教育委員会では、それぞれの障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じた学びの場において、指導内容や指導方法の工夫、切れめない支援の実施、指導の核となる自立活動の充実、合理的配慮の提供等を、安全で安心できる校園内体制のもと、計画的・組織的に行っています。

(回答作成課：堺市健康福祉局障害福祉部障害施策推進課

(電話) 072-228-7818 )

(回答作成課：堺市教育委員会事務局学校教育部支援教育課

(電話) 072-340-2323)



## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 神戸 市

### 16 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

公民館で開催される講座やセミナーにおいて、公民館で定期的に活動している手話グループが壇上横で手話を行い、聴覚障害者にも参加いただけるよう取り組んでいる。

(回答作成課 : 神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課 (電話) 078-322-5284)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 岡山市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

障がい者に関する事業は以下のとおり。

- ・発達障害のある子どもたち/保護者の当事者会、支援者団体の情報交換会の開催
- ・手話講座(クラブ)
- ・避難訓練で、障がい者を含む様々な立場の方に呼びかけて行う事例がある。

必要な取組だと認識しているが、公民館で積極的な取組は行っていない。

(回答作成課 : 岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課公民館振興室  
(電話) 086-234-6015)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 広島 \_\_\_\_\_ 市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

本市では該当がありません。

(回答作成課 : 広島市市民局生涯学習課 (電話) 0 8 2 - 5 0 4 - 2 4 9 5)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 北九州市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

北九州市では、障害のある人及び支援者の活動拠点としての役割を担う「障害者福祉会館（東部障害者福祉会館・西部障害者福祉会館）」において「社会参加講座開催事業」を実施しています。

当事業では、障害のある人の日常生活に役立つ知識の習得や、社会参加の促進を目的として、料理や手芸、体操等の様々な講座を開催しており、障害のある人にとって学校卒業後の学習の場となっています。

(回答作成課：北九州市 障害福祉企画課 電話 093-582-2453 )

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 福岡市

### 16 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

◎地域の教育力育成・支援事業「共生する地域づくり事業」

【目的】

福岡市人権教育・啓発基本計画に基づく人権課題の当事者を中心として、地域における住民同士の交流や相互理解を図りながら、人権問題の解決に向けた学習や啓発活動を行う地域グループを支援し、もって人の多様性を認め合い、共生する地域づくりを推進する。

【活動例】

○人権問題に関する学習会（同和問題、障がい者に関する問題、外国人に関する問題など）

○社会参画に向けた学習会（識字学習など）

○学習の成果の発信等による啓発活動

【助成内容】

○助成対象

- ・人権課題の当事者を中心とした10人以上の会員で構成されていること
- ・会則を備えていること など

○助成対象経費

- ・外部講師への謝礼金、印刷消耗品費
- ・学習施設等を利用する際の入場料、交通費 など

○助成金額

- ・助成対象経費の5分の4以内（上限30万円）

◎障がい者青年学級事業

【目的】

福岡市では、市立特別支援学校高等部を卒業した知的障がいのある青年に対して、社会参加の促進をはかるため、社会生活に必要な知識・技能に関する学習機会の提供や余暇活動の支援を行うとともに、障がい者相互の交流を図るため、障がい者青年学級事業を実施している。

**【取組状況】**

現在、市内6校の特別支援学校において、年1～4回程度、1回あたり卒業生30人程度を対象に実施している。  
令和5年度の実績は6校で19回、707人の卒業生が参加している。

**【今後の方向性について】**

課題として、対象者数の増加、教員の負担軽減（実施企画から土日の開催運営）等により、学級運営が難しくなっているが、今後も「はたちを祝う会」を中心に可能な範囲で行っていく。

（回答作成課：福岡市教育委員会総務部人権・同和教育課（電話）092-711-4645）

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 熊本市

### 1 6 新潟市

(提出議題)

障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について

(回答)

障がいをお持ちの方に特化した講座はない。

ただし、障がいの有無にかかわらず講座に参加できるよう、個別に確認し、配慮して開催している。

(回答作成課:熊本市文化市民局市民生活部生涯学習課 (電話) 096-328-2736)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

名古屋市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料(回答書)のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	外国にルーツを持つ児童生徒・保護者への社会教育としての活動支援について
(提案理由) 本市には外国にルーツを持つ児童生徒が多く、言語面に不安があり日本語指導が必要な児童生徒の早期の学校生活への適用が課題となっている。 民間の日本語学校等はあるものの、応募者多数で数カ月の待機が必要となり、事実上日本語を学ぶ場所が小・中学校という状況となっており、学校教員の負担となっている。 第4期名古屋市教育委員会振興基本計画では、事業として「外国にルーツを持つ子ども等への支援の充実」を掲げており、一部の生涯学習センター(各区にある生涯学習施設)において地域日本語教室等の活動支援等を行っているが、量・質ともに十分ではないという指摘もある。 つきましては、外国にルーツを持つ児童生徒・保護者への社会教育としての講座・事業等の活動支援についてご教示ください。  【本市の実績例】 《講座》 ○外国人住民とともに行う地域防災～やさしい日本語をつかって (中生涯学習センター) ○【国際交流課共催】日本語を通じて外国人と友達になろう！～日本語ボランティア養成講座～ (中川生涯学習センター) ○「やさしい日本語」をみんなで考えよう！～地域でできる多文化共生～ (南生涯学習センター) 《動画》 ○「やさしい日本語」でつながろう (e-ねっと*なごや) <a href="http://www.manabu.city.nagoya.jp/bin2/cms2/see_more.cgi?c=72&amp;d=1&amp;p=1&amp;x=100">http://www.manabu.city.nagoya.jp/bin2/cms2/see_more.cgi?c=72&amp;d=1&amp;p=1&amp;x=100</a>	
協議題作成課：名古屋市教育委員会事務局生涯学習課 (電話) 052-950-5045	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。



## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 \_\_\_\_\_ 新潟 \_\_\_\_\_ 市

### 17 名古屋市

(提出議題)

外国にルーツを持つ児童生徒・保護者への社会教育としての活動支援について

(回答)

(公財) 新潟市国際交流協会では、新潟県退職公務員連盟の社会貢献委員(元教員メンバーなど)と連携し、学習支援教室「にこぼるクラブ」を毎週土曜日に開設し、日本語を母語としない小中学生を中心に主に学習面をサポートしている。(ゲームなどの遊びや日本語指導も含む)

ボランティアスタッフには交通費を支給し、継続的な活動を支援するとともに、教育委員会など関係機関と情報交換をしている。

特に保護者を対象にした事業は実施していないが、外国籍市民等を対象とした日本語講座を開設しているため、日本語習得に関しては、保護者の方もそちらで勉強していただける。

(回答作成課 : 新潟市観光・国際交流部国際課 (電話) 025-226-1677)

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

京都市

協議方法の希望 ① <input type="checkbox"/> 議題希望 ・ ② <input type="checkbox"/> 資料 (回答書) のみ ← <input type="checkbox"/> 内に○を入力	
協議題	資金調達及び経費抑制に向けた工夫について
<p>(提案理由)</p> <p>少子高齢化・人口減少、コロナ禍等により、自治体の財政は厳しい状況にあり、生涯学習関連予算についても、カットを余儀なくされています。そうした中、資金調達（ふるさと納税、クラウドファンディング等）に力を入れる自治体も増えています。</p> <p>本市においては、生涯学習施設がふるさと納税制度の対象となっていますが、事業の統廃合や経費の抑制に努力しているところです。</p> <p>つきましては、貴市において、生涯学習事業に関する資金調達の事例や、経費抑制に向けた工夫例等があれば、ご教示ください。</p> <p>≪資金調達事例1≫</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 資金調達方法：ふるさと納税（京都市子ども・大人のまなび応援事業）</li><li>2 対象施設：京都市学校歴史博物館、青少年科学センター、花背山の家、生涯学習総合センター、図書館</li><li>3 返礼品：入館券、書籍、木工品セット等</li><li>4 令和4年度実績額：7,449千円</li><li>5 課題や工夫等：各施設のホームページやチラシで周知しています。</li><li>6 HP：<a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000290935.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000290935.html</a></li></ol> <p>≪資金調達事例2≫</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 資金調達方法：ホームページバナー広告</li><li>2 対象：京都市生涯学習情報検索システム「京（みやこ）まなびネット」</li><li>3 金額：年額30,000円、月額3,200円</li><li>4 令和5年度掲載数：2枠／8枠</li><li>5 周知方法：HP掲載、担当者がカルチャーセンター等へ個別に訪問や電話をしています。</li><li>6 課題や工夫等：掲載が関係団体にとどまり、掲載数が少ないのが課題です。</li><li>7 HP：<a href="https://miyakomanabi.jp/">https://miyakomanabi.jp/</a></li></ol> <p>≪資金調達事例3≫</p> <p>・青少年科学センターでは、CSR活動に力を入れている京都の企業と連携し、自社の技術や特色を生かした体験型の展示品を提供いただき、企業特別展や実験教室等を開催しています。</p>	
協議題作成課：京都市教育委員会生涯学習部生涯学習推進担当（電話）075-251-0410	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

### 18 京都市2

(提出議題)

資金調達及び経費抑制に向けた工夫について

(回答)

本市では、ふるさと納税の寄附金を様々な事業の財源として活用しているが、令和6年4月現在、用途を生涯学習事業に限って寄附を募った実績はない。

また、その他の資金調達手段においても、生涯学習事業に限定した調達は実施してない。

(回答作成課 : 新潟市財務部財務企画課 (電話) 025-226-2193 )

(様式1)

## 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会

### 協議題報告書

提案都市名

北九州市

協議方法の希望 ①【 】議題希望 ・ ②【○】資料（回答書）のみ ←【 】内に○を入力	
協議題	家庭教育支援の取り組みについて
<p>(提案理由)</p> <p>本市では家庭教育支援について、以下のような視点に基づき取り組みを実施してきました。</p> <p>①保護者の学びの場を作る「家庭教育学級の実施」 市民センターが主体となり、学校・PTA等と連携して、市立幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、直営保育所ごとに、保護者が必要とする学習会や交流会を企画・実施する。</p> <p>②地域で子育てを支える「子育てサポーター制度」 市民センターで活動する子どもの見守りや子どもに関する事業にかかわるボランティアである「子育てサポーター」を育成・配置する。</p> <p>③子育てに必要な情報を届ける「キタキュー親力アップ漫画」 保護者が抱える子育ての悩みをテーマに、専門家と連携し、子育てに関するウェブ漫画「キタキュー親力アップ漫画」を製作し、HP・YouTubeで情報発信を行う。 <a href="https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/03400242.html">https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/03400242.html</a></p> <p>しかしながら、PTAの組織の簡素化等により、①家庭教育学級に関して、実施方法の見直し（企画・運営段階における関与の簡素化によるPTA等の負担軽減、学校単位から市民センター単位への開催数の変更等）を行いました。</p> <p>家族構成や家庭環境の変化等を背景に、本市では今後も家庭教育の支援方法について見直しを進める必要があると考えています。</p> <p>つきましては、今後の本市取組の参考とさせていただきたく、特に①と③の視点に関連する各市の家庭教育支援の取組・見直し状況についてご教示ください。</p>	
協議題作成課：北九州市地域・人づくり部生涯学習課（電話）093-582-2385	

(備考) 提案に伴う関係資料がありましたら、添付またはリンク先の掲載をお願いいたします。

# 社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 回答報告書

回答都市名 新潟 市

19 北九州市

(提出議題)

家庭教育支援の取り組みについて

(回答)

## ① 保護者の学びの場を作る「子育て学習出前講座の実施」

より多くの保護者に家庭教育について考える機会を提供するため、市内小中学校、中等教育学校と連携し、新入学説明会など多くの保護者が学校に集う機会を活用して、公民館主催の「子育て学習出前講座」を実施している。講座の開催を希望する学校を募って、各校のニーズに適う講師を派遣し、児童期、思春期の子育てに関わる講演会などを行うことで、家庭教育力の向上を図っている。

## ② 地域人材の協力を得て行う支援

市内公民館 18 か所で、主に乳児期の親子が気軽に利用できる居場所「子育てサロン」を実施しており、見守りや読み聞かせを行う無償ボランティアを配置している。全公民館で統一的なボランティア養成講座や登録制度はないが、各公民館がそれぞれ地元の人材と連携し、家庭教育支援を行っている。

## ③ 子育てに必要な情報を届ける媒体

本市では、子育て支援制度、親子で遊べる場所や子育てサークル、保育園・幼稚園、相談窓口など、子育てに役立つ情報を掲載した子育て応援パンフレット「スキップ」を発行しており、公民館は主に上記②の「子育てサロン」の開催概要を掲載している。

電子版と冊子（パンフレット）があり、電子版は、市のホームページから閲覧可能。冊子は各区役所や公民館などのほか、本市と包括連携協定を結んでいる市内のイオン系列店でも取り扱っている。

## ④ 家庭教育支援プログラム

家庭の教育力向上を図るため、令和3年度から市民と協働で、「家庭教育支援プログラム」を作成するとともに、同プログラムを活用して保護者同士の話し合いを進めるファシリテーターの育成と派遣に取り組んでいる。

令和5年度は小学校や公民館、企業など9か所にファシリテーターを派遣し、学習会（通称：「ハッピー子育て！おしゃべり会」）を実施した。「日常生活について話し合い、共感することで気持ちが楽になった」、「講師の話聞くだけでなく、他の保護者と話すことができてよかった」などの感想が得られ、保護者同士が満足感をもってつながる場とすることができた。

（回答作成課　：新潟市教育委員会生涯学習センター　（電話）025-224-2088）